公立甲賀病院紀要投稿規定

1．本誌は、公立甲賀病院の業績と職員およびその関係者の研究業績等を掲載する機関誌です。

2．本誌に掲載する内容は次の通りです。

(1) 研究論文（総説、原著論文、症例報告等。**ただし他誌に発表されていない論文に限ります。**なお学会、研究会での発表はこの限りではありません）

(2) 研究業績（他誌投稿論文、学会および研究会発表等）

(3) 講演会、研究会等の学術活動の業績

(4) 病院・臨床統計、部署別統計、委員会報告など

(5) 視察、研修講習会等の報告

(6) 院内学術活動

(7) その他学術部が適当と認めたもの

3．原稿は次の要領で書いてください。

原稿提出時には電子媒体も必ず一緒に提出してください。

(1) 研究論文（原著）

和文で記載してください。記載に当たっては、後述の論文執筆規定を参照してください。

(2) 研究業績

他誌への投稿論文、学会および研究会発表等の業績を収載します。演題名、所属、氏名（共著者名を含む）、雑誌名あるいは学会研究会名、年月を発表年月日順に別紙に記入してください。

(3) 学術活動の業績

講演会、研究会の主催あるいは座長等、その他の学術活動の業績を収載します。演題名、演者、講演会名あるいは研究会名、年月を発表年月日順に別紙に記入してください。

(4) 視察、研修講習会等の報告

A4判（横書き）、パソコンを使用してください。表題、所属、氏名を明記し、本文を書いてください。写真、図表は1点につき400字と数えます。文字数に特に制限はありませんが、9,600字を越えるときは学術部の了承を得てください。

4．研究論文（原著）執筆規定

A4判（横書き）、パソコンを使用し、本文・抄録・文献・図表の合計は総説、原著論文などは12,000字、症例報告は8,000字以内でお願いします。図表は1点につき400字と数え、組写真はバラして数えます（例：図1a, b, cは1,200字）。

投稿論文は電子媒体等と原稿1部（図表のコピーも含む）を提出してください。

なお、著者には別刷を20部無料で贈呈します。

研究論文（原著）の様式

［表紙］

原稿1枚に表題、所属、著者名、Keywordsをお書きください。

(1) 表題：簡潔、的確なものとし、略語はなるべく用いないでください。

(2) 所属：内科、外科、看護部、薬剤部等

(3) 著者名：共同著者名も含めてくださいい。

(4) Keywords:3個とし、和英併記してください。（できるだけIndex Medicus等で用いられている用語を使ってください）

［抄録］

和文抄録を300字以内で記述してください。これだけで論文の内容が分かるように、目的、対象、方法、結果、結語を要約してください。なお、和文抄録は規定原稿枚数に含みます。

［本文］

(1) 口語体、新仮名使い、常用漢字を基準とします。

(2) 外国語はできる限り和訳し、和訳できない外国語、人名のみ外国語綴りとします。本文中の略語は初出時に正式名を記し、（　）内に記入した後に使用する。度量衡の単位はCGSを、年号は西暦を、数字は算用数字を用いてください。学術用語は医学用語辞典（日本医学会編）および各学会用語集に従ってください。

(3) 論文の最後に、その概要がわかる〔まとめ〕をつけてください。

［図（写真・シェーマ）・表］

(1) 図・表は1図1枚、1表1枚でまとめ、タイトルと説明を入れてください。

(2) 写真は紙焼き（白黒、手札程度）とし、A4判の白地の台紙（原稿用紙）を使用してください。

(3) カラー写真については学術部が論文の内容から必要と判断した場合のみ掲載します。

［文献］

(1) 原則として引用文献で、必要なもののみとします。

(2) 記載は出拠順に、1）2）3）式とします。本文の引用箇所に文献番号をつけてください。

Presented by Medical*Online

(3) 文献の著者は3名まで併記してください。それ以上の場合は、他（日本語文献）、et al.（外国語文献）とします。

(4) 頁は、初頁 - 終頁、発行年月は西暦とします。

◆和文雑誌の場合－著者名：題名．雑誌名，巻：初頁 - 終頁，発行年．

例）；1）小河秀郎，大村寧，中村紘子他：高度な飢餓による低血糖のため片麻痺のみを呈したバセドウ病の1例．脳卒中，33(2): 251-254, 2011.

◆欧文雑誌の場合－雑誌名はIndex Medicusの省略法に準拠し、論文題名の文題のみ大文字、その他は和文雑誌と同じです。

例）；2) Terado T, Kim CJ, Ushio A, et al.: Cryptotanshinone suppresses tumorigenesis by inhibiting lipogenesis and promoting reactive oxgen species production in KRAS-activated pancreatic cancer cells. Int J Oncol, 61: 108-116, 2022.

◆単行本（和、欧とも）の場合－著者名：題名（欧文文頭は大文字）．監修者，書名，巻（版数），発行所，発行地，初頁 - 終頁，発行年．

例）；3）井本勝治：急性腹症の超音波診断．山﨑道夫（編），レジデントのための腹部画像教室，日本医事新報社，東京，102-117, 2017.

例 ）；4）Grodsky GM: Kinetics of insulin secretion: Underlying metabolic events. LeRoith D, Talor SI, Olefsky JM (eds), Diabetes Mellitus, (2nd Edit), Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2-11, 2000.

［英文抄録］

原則として、和文抄録と同じ内容の英文抄録をつけてください。A4版で行間ダブルスペース、英単語250語以内で書いてください。なお、題名、所属、著者名はこの単語数には数えないものとします。また、英文抄録は規定原稿枚数には含みません。

「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」＊

医療を実施するに際して患者のプライバシー保護は医療者に求められる重要な責務である。一方、医学研究において症例報告は医学・医療の進歩に貢献してきており、国民の健康、福祉の向上に重要な役割を果たしている。医学論文あるいは学会・研究会において発表される症例報告では、特定の患者の疾患や治療内容に関する情報が記載されることが多い。その際、プライバシー保護に配慮し、患者が特定されないよう留意しなければならない。

以下は、症例報告を含む医学論文・学会研究会における学術発表においての患者プライバシー保護に関する指針である。

1）患者個人の特定可能な氏名、入院番号、イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。

2）患者の住所は記載しない。ただし、疾患の発生場所が病態等に関与する場合は区域までに限定して記載することを可とする。（神奈川県、横浜市など）。

3）日付は、臨床経過を知る上で必要となることが多いので、個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載して良い。

4）他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定され得る場合、診療科名は記載しない。

5）既に他院などで診断・治療を受けている場合、その施設名ならびに所在地を記載しない。ただし、救急医療などで搬送元の記載が不可欠の場合はこの限りではない。

6）顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は、顔全体が分からないよう眼球のみの拡大写真とする。

7）症例を特定できる生検、剖検、画像情報に含まれる番号などは削除する。

8）以上の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は、発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人、小児では保護者）から得るか、倫理委員会の承認を得る。

9）遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省、厚生労働省及び経済産業省）（平成13年3月29日）による規定を遵守する。

平成17年9月12日
公立甲賀病院医学研究・医療行為倫理委員会
公立甲賀病院雑誌編集委員会

＊日本外科学会雑誌投稿規定、外科関連学会協議会加盟学会の基準を参考にしました。

Presented by Medical*Online